

# 落書きで農業身近に



北島町北村でダイコン栽培のビニールハウスを子どもらの「落書き用」に開放している榎本泰夫さん(62)

「鳴門市大麻町東馬話、農業、写真。色とりどりの絵を見ながら「落書きを通して農業を身近に感じてくれれば」と話す。

ハウスを開放して15年。子どもたちから「ダイコンのおっちゃん」として親しまれている。ダイコンの収

穫作業を体験させてあげることがあり、その翌日には決まって「おいしかった」という書き込みがあるとか。「やりがいを感じる瞬間」と目を細める。

自宅近くの知的障害者施設「かのん」の利用者とも、農業を通して交流を続けており、3年前の夏からはスイカ作りを支援している。「農業の魅力と可能性を多くの人に伝えたい」。笑顔に優しい人柄がにじんだ。

(川辺健太)